

## 開催趣旨

「建設技術展2012近畿」は、民間企業が開発した新技術・新工法を展示・紹介する場において、産・学・官の交流を行うことで、これまで培われてきた建設技術のより一層の高度化やより広範囲な技術開発の促進へつなげ、新技術の各工事への積極的な活用を促すことを目的とするものです。

そのキーワードは

- ① 民間分野において、建設事業に関連した技術開発への取り組みの紹介
- ② 新しく開発された技術の育成と普及
- ③ 技術開発に向けた建設技術者の意識の高揚
- ④ 発注者のニーズを広報し、新技術の開発・普及につなげる

技術展の開催を通して、ハード・ソフト両面での社会基盤整備に関連した技術の役割や意義を発信していくとともに、発注者ならびにコンサルタント、ゼネコン、資材業者など幅広い方々へPRしていくことで、建設産業の一層の発展に寄与していきたいと考えています。



### 来場者数

技術出展		
技術分野	出展者数	ブース数
防災	21	21
環境	22	23
コスト縮減	9	11
安全・安心	34	50
施工	34	41
IT・ロボット	3	4
団体	8	10
学校	14	14
合計	145	174

## 開催イベント

### 近畿地方整備局防災シンポジウム

「台風12号 紀伊半島大水害」～その時、何が…。

大災害に立ち向かって～ 11/1 [木] 13:30-15:30

三村 衛氏(京都大学大学院教授)をコーディネーターに中込 淳氏(近畿地方整備局河川部河川調査官)、岡本 敦氏(国土技術政策総合研究所危機管理技術センター砂防研究室長)、船迫 俊雄氏(鹿島建設赤谷地区河道閉塞緊急対策工事所長)、大塚 康之氏(大成建設栗平地区河道閉塞緊急対策工事所長)、小俣 新重郎氏(日本工営技師長)が参加。平成23年9月の「台風12号紀伊半島大水害」発生直後から何が求められ、どのように対処してきたなどを検証するとともに、今後の防災・減災の取り組みや方向性について積極的な情報発信をされました。



### 関西ライフライン研究会防災フォーラム

「南海トラフ巨大地震に備えて  
～地震と津波の実像に迫る最新研究動向～」

10/31 [水] 10:30-12:30

講演

- 京都大学防災研究所教授 橋本 学氏  
「南海トラフ巨大地震と津波の想定と最新研究動向」
- 京都大学防災研究所教授 間瀬 肇氏  
「津波の実像と津波研究の最新研究動向  
～3.11東北地震津波の教訓を踏まえて～」



### 土木夢づくり懇談会シンポジウム

「産・学・官の連携で建設業の未来を」

10/31 [水] 15:30-17:00

産学官の連携で建設業の人材確保や広報のあり方について検討している「土木夢づくり懇談会」(座長・大西 有三京都大学名誉教授)が人材確保や土木の魅力発信などをテーマに奈良 敬氏(大阪大学大学院教授)、大津 宏康氏(京都大学大学院教授)、大塚 俊介氏(近畿地方整備局企画部長)、河本 克正氏(日本建設業連合会関西支部長)、本下 稔氏(建設コンサルタント協会近畿支部技術部会長)らがパネルディスカッションを行いました。コーディネーターは大西座長が務められました。



### 学生のためのキャリア支援

～相談にのります、将来への道づくり～ (土木学会関西支部)

11/1 [木] 13:00-15:00

土木業界を代表する産・官の業種(官公庁、高速道路、鉄道、総合建設業、建設コンサルタント、橋梁メーカー)から、実際に働いている方々に来ていただき、学生のみなさんに今後のキャリアパスを考えるための参考にしていただきました。



### 建設副産物リサイクル広報推進会議

### 2012建設リサイクル技術発表会

【第1部】 10/31 [水] 13:00-15:00

特別講演

- 京都大学大学院地球環境学堂教授 勝見 武氏  
「地球環境時代の建設リサイクルを考える」
- 独立行政法人土木研究所構造物メンテナンス研究センター橋梁構造研究グループ長 桑原 徹郎氏  
「橋の長寿命化・CAESARメンテナンス技術」



【第2部】 11/1 [木] 10:00-12:00

技術発表

- 泥土リサイクル協会「高含水泥土のリサイクル」
- 奥村組土木興業「排水性舗装混合物の100%リサイクル技術」
- 都市再生機構西日本支社「環境への取組みに関する広報活動報告」
- ポンテラン工法研究会「高含水比泥土リサイクルシステムの紹介」
- 竹中道路「IH式舗装撤去工法」

「2012建設リサイクル技術展示会」表彰式



### 土木実験・プレゼン大会

～どうして?なぜ?が一目でわかる～ (土木学会関西支部)

10/31 [水] 14:30-16:00

土木がつくる施設や工事について、一般の方々にも、わかりやすく親しくて興味を高めてもらえるように、平易な実験(支持力、橋梁、可視化など)でプレゼン大会を行いました。



### 橋梁模型製作コンテスト

10/31 [水] 10:30-12:30 会場製作部門

11/1 [木] 10:00-12:00 会場製作・学生部門載荷試験

